

山東横浜橡膠工業製品有限公司 CSRレポート

事業内容: コンベヤベルトおよび関連製品の生産・販売
敷地面積: 50,000m²
従業員数: 332人(2011年5月31日現在)
所在地: Xinzhai, Local Town, Linq Country, Weifang City Shandong Province, China
相談・苦情などの受付窓口:
 人事総務課 TEL: 0536-334-3576 FAX: 0536-334-3515
 メールアドレス: wflqwlenli@yahoo.com.cn



社長ご挨拶



齋藤 知二

当社は2006年1月に、山東躍馬橡膠有限公司と横浜ゴム(中国)有限公司の合併会社として、中国山東省のほぼ中央、青島市から車で3時間の臨朐県に設立されたコンベヤベルトの生産販売会社です。環境に関しましては、年々中国も環境対策への関心が高まりつつありますが、一例として中国随所で見られる大気汚染など、経済・工業の発展に環境対策が追いつかないといった感が否めません。このような中国市場において弊社は、環境貢献牽引企業として、2010年は、高効率ボイラーへの更新に加え、排煙脱硫装置の導入など、環境負荷低減策として、まず第一に大気汚染対策

を実施してまいりました。また、製品に関しましては、環境貢献ベルトということで、パイプコンやエコベルトなど環境に優しいベルトを中国市場でも拡販すべく取り組んでおります。このような活動の結果として、最近ではベルト業界では、クリーンで高品質な最新鋭の日系合併企業として位置付けられ、政府関係者の視察も頻繁に実施される注目度の高い会社となってきております。さらに、2011年度は、8月に第一回植樹会を計画しており、「YOKOHAMA千年の杜」プロジェクトを進めています。また、安全に関しましては、2010年10月から職場ごとの小集団活動による事故撲滅運動を強力に推進した結果、事故発生を完全に抑えることができました。これからも、地域社会に貢献するトップレベルの環境貢献企業を目指して邁進したいと考えております。

環境経営の推進

環境方針

基本理念

我々は、地球環境を保全する重要性を十分認識し、全ての経営事業において、積極的に環境保護活動、地球温暖化防止に取り組み、環境経営を継続的に推進し、持続発展可能な循環・節約型社会への変換に貢献する。

環境方針

- (1) 環境に関する法律やルールを遵守します。
- (2) 環境保護を重要課題とし、EMSで管理します。
- (3) 環境保全に関する方針や教育を全ての社員と地域で共有化します。
- (4) エネルギーの節約、屑発生量の低減、再利用活動の推進、など環境負荷低減に率先して取り組みます。ゼロエミッションを実現します。
- (5) 最良の環境貢献企業となることを目的とする、YRC日本の中期計画としての環境GD(グランドデザイン)100活動を推進します。
 - I. 継続的に我々の環境経営を改善してゆきます。
 - II. 地球温暖化防止を推進してゆきます。
 - III. 持続可能な循環型社会実現に貢献します。

環境データ

項目		2008年度	2009年度	2010年度
廃棄物	発生量(t)	681	639	777
	埋立率(%)	0.0	0.0	0.0
エネルギー使用量 (原油換算:kl)	電力	895	1,188	1,433
	燃料	34	3,235	4,388
	合計	929	4,423	5,821
温室効果ガス排出量(千t-CO ₂)		2.1	13.9	18.5
大気汚染物質排出量 (mg/Nm ³)	NOx	—	—	533.6(基準値内)
	SOx	—	—	706.8(基準値内)
騒音(dB)		—	—	55.1~57.7(基準値内)

※年度:1月~12月

※温室効果ガス排出量の算定は、日本国の環境省・経済産業省発行の温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルを使用しました。

化学物質の管理状況についての報告 (PRTR法への対応)

2010年度は環境事故、環境ヒヤリ、ゼロを達成しました。

労働安全衛生(安全衛生方針、安全衛生への取り組み)

2011年度安全衛生方針

1. 基本理念
安全は全てに優先する(安全第一)
2. 目標
完全ゼロ災害(怪我ゼロ)
3. 重点施策
 - (1) 労働安全衛生マネジメントシステムの構築
 - (2) 設備の安全化
 - (3) 安全な人づくり
 - (4) 快適な職場づくり
 - (5) 心と体の健康づくり
 - (6) 交通事故の防止
4. 基本行動
 - A. 2S(整理、整頓)は安全の基本。
 - B. リスクアセスメントの活用
 - C. 職場の基本ルールの遵守
 - D. 「ヒヤリ・ハット活動」による危険の摘み取り
 - E. 3現主義に基づいた行動(現場、現物、現実)

毎月安全環境会議を開催し、他工場災害事例報告、工場パトロール、環境報告等を行っています。全40チームに及ぶ安全分科会を発足(2010年11月～)し、各班毎週ヒヤリハット&不安全作業を摘出、対策を展開することで、一人一人の安全意識が大きく向上しており、無災害記録を継続中です。

従業員の教育・訓練

第1回安全防災大会(全社安全発表会)を実施(2011年3月)し、第2回を2011年9月30日に計画中です。

消火訓練は、2010年12月に実施し、112人が参加しました。

災害時の対応

山東省は、基本的に地震・洪水がないと言われている地域で、地震対策は特にありません。

災害と考えられるのは、雷や主に火災の発生時の対応ですが、雷については、工場の建屋の数箇所にある避雷針の性能確認を2011年4月に実施。火災については、消火活動が主な対応策です。

 製品・サービスの安全と品質

消費者とのコミュニケーション

当社の商品は、全て個別受注生産であり、商品の最終ユーザーまで全て把握できているため、おのおの個別に対応しています。

苦情などへの対応

環境関係、品質関係の苦情については、おのおの環境会議、品質会議にて対策を立案して、実施しています。

 人権・労働慣行

人権尊重

当社では、もちろん、児童労働や強制労働などは行っていませんし、法に触れるような行為(コンプライアンス違反)に対しては、総務課長と情報交換を蜜にし、特に気を配っています。

男女平等の推進

待遇面など、男女で差別することは、全くありません。

 取引先との信頼関係

汚職に関する方針

主に購買部門や販売部門など、定期的に担当業務をローテーションすることを方針としており、直近では2011年の6月1日付で、担当を大きく変更しました。

 ステークホルダーコミュニケーション

これまで寄せられた主な意見や苦情と対応内容

2008年度、混合ミキサからのカーボン粉塵飛散により近隣より苦情ありましたが、新ミキサ設置に伴い集塵機を新設し対策を図りました。

工場見学・説明会のご案内

お客さまが当社へ訪問していただいた際は、その都度計画実施しています。

YOKOHAMA千年の杜プロジェクト

YRSC植樹祭を2011年8月20日に開催予定です。